

# 2024年度 東京応化科学技術振興財団 個別報告書 04

開催日時	2024年9月8日(日)		開始時間	13:30	終了時間	15:15			
開催場所	谷口児童館								
実施内容	プチプチ浮沈子を作ろう								
人数	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	計
	1	3	6	3	5				18
スタッフ	5名	実施機関スタッフ			5名				

## 1 概要

- ①プチプチシートやクッションシート絵を描いて切り取る。
- ②ペットボトルに、ほとんどいっぱい水を入れ、製作した浮沈子を入れてキャップを固く締める。
- ③両手でボトルを押すと、浮沈子はどうなるか試してみる。

## 2 実施内容

- ・各班4~5名の児童と1名の保護者、幼児の保護者が4班にわかれ、初めに進行担当からPPTを使って概略の説明を行った。スタッフが1名ずつ担当して作業工程を支援した。
- ・水を入れたペットボトルに浮沈子を入れ、実際に児童たちが押したり離したりして、浮沈子の動きを観察した。浮沈子が動かない時に、どうしたら動くかを、水の量・おもりの数等の変化を加えあれこれ工夫して活動した。
- ・最後に、会で準備した魚の形のたれビンに針金のフックをつけたもの、プラチェーンを2個組んだもの2組を使い「魚のえさ釣りゲーム」を演示した。参加者にもそれぞれ配って楽しんで活動した。
- ・「魚の浮沈子の中に水がいっぱい入るとペットボトルの中で動かないのはなぜ？」の質問、「知らなかったことを知れてよかった」の感想が得られた。

## 3 良かった点、課題点など

- ・浮沈子が入ったペットボトルを見ても要領を得ない様子であったが、浮沈子の見本や自分で作成した浮沈子を浮かべてみて内容を理解し、次々にそれぞれ自分の好きなものを書いて楽しんでいった。
- ・浮沈子の水を沈めておもりの調整をするための容器(2Lペットボトルを切った物)は最低6個ほど準備した方が、浮いている様子をはっきりわかるのではないかと思う。

